



質問する子どもたち

11/25 郷土愛を育てる
長洲小学校が潮風ウォークを開催

長洲小学校(甲斐裕一校長)は、潮風ウォークを開催しました。

これは、児童たちの郷土を愛する心を育ててほしいと子ども育成協議会が中心となって企画したもので、ことして3回目。全児童254人と、保護者、地域住民約50人が長洲小学校を出発し、四王子神社や史跡を巡りました。

四王子神社では、松田宮司からの的ばかひの歴史についての話があり、史跡巡りでは児童がガイドを務め、町の歴史を学びました。



感謝状を手にする徳永さん

11/30 長年の功績をたたえて
農林水産大臣から感謝状の贈呈

長年にわたって農林水産統計調査に協力した功績を称え、農林水産大臣から徳永範昭さん(葛輪区)に感謝状が贈呈されました。

これは、10月18日の「統計の日」を記念して、統計調査に協力された人に感謝状が贈られるもので、徳永さんは、5年間にわたって統計調査に携わり、このたびの受賞となりました。



振る舞う抹茶をたてる茶道教室のメンバー

11/22・12/20 入所者に喜んでほしい
鷺巣区が呈茶会を開催

鷺巣区(城戸邦晴区長)は、介護老人保健施設聖ルカ苑を訪問し、呈茶会を行いました。

これは、区で毎月行っている茶道教室の生徒と先生約10人が入所・通所している利用者に抹茶を楽しんでもらいたいと3年前から行っている取り組みです。本年度は3回に分けて実施し、延べ100人の利用者に抹茶を振る舞いました。

城戸区長は「皆さんに楽しんでいただけてうれしいです。今後も引き続き取り組みを行っていきたくです」と話しました。



外出支援活動を楽しんだ新山区民

11/27 区民との交流を深める
新山区で外出支援活動

新山区(島永邦生区長)は、外出支援活動で熊本市の水前寺公園と片岡演劇道場を訪れました。

この日は19人が参加し、参加した区民の皆さんからは「50年ぶりに訪れたが、紅葉と水がとてもきれい」などと秋の風物詩を楽しむ声が聞かれました。

島永区長は「皆さんの笑顔を見ることができてとてもうれしかったです。今後も皆さんに外出するきっかけを作り、健康に過ごしてほしいです」と語りました。



葉酸の説明を受ける妊婦さん(左)



門松を作った老人会と子ども会の皆さん



受賞した渡辺亮一教授



清源寺神楽を披露する福田くん(左)と廣岡くん(右)

1/4 赤ちゃんの健やかな成長のために
葉酸サプリメントの配布が始まりました!

町は包括連携協定を締結している(株)ディーエイチシーの協力により、母子健康手帳を交付した妊婦さんへ葉酸サプリメント(1カ月分)の無料配布を開始しました。

これは、妊婦さん自身の健康や、赤ちゃんの健やかな成長のために必須栄養素と言われている『葉酸』の摂取をすすめることで、バランスのとれた食事への関心を高めるための取り組みです。

葉酸を受け取った妊婦さんからは「配布してもらえてありがたい」「子どものためにしっかり飲みたい」などの感想が聞かれ、葉酸の効率的な摂り方についての質問などもありました。

12/23 区民のコミュニケーションの場
古城区で門松作り・餅つきを実施

古城区(橘馨区長)は、古城区学習センターで門松作り・餅つきを実施しました。これは、区の子ども会と老人会が区民のコミュニケーションの一環として毎年行っているもので、10年以上続く取り組みです。

この日は、約50人の区民が参加し、できた餅はひとり暮らし高齢者にも配布されました。



教わりながら餅作り



協力して餅つき



1/7 新町区



1/14 鷺巣区

1/7・14 無病息災、五穀豊穡を願って 各地でどんどやを開催!!

各行政区(赤崎区、鷺巣区、新町区、宝町区、下東区、東荒神区、大明神区など)で伝統行事の「どんどや」が行われました。

どんどやとは、正月飾りなどを各家庭から持ち寄り、一カ所に積み上げて燃やす日本全国に伝わる火祭りで、無病息災・五穀豊穡を祈る伝統的な行事です。

当日は、子ども会や老人会、消防団など、多くの区民が参加し、竹やわらで高く積み上げられたやぐらに点火すると、瞬間に炎が舞い上がりました。会場には竹のはじける音が響き渡り、参加した区民からは歓声が上がりました。火がおさまると、手作りの竹竿に鏡餅をつけて残り火の中で焼いたり、ぜんざいが振る舞われるなど、各地で盛り上がりを見せました。

12/16 福岡大学が最優秀賞を受賞!
~有明海の再生に向けた取り組み~

福岡大学(渡辺亮一教授)は、有明海再生機構主催の「有明海再生に向けた技術提案ワークショップ」において最優秀賞を受賞しました。これは、町と福岡大学が有明海再生に向けてフルポ酸鉄シリカ資材(水質浄化作用)を活用した取り組みが評価されたものです。

これまでの取り組みにより、町内の小学生・幼稚園・保育園児を「干潟体験学習」として招き、潮干狩り体験を開催するまでに干潟が回復しており、この取り組みが有明海沿岸地域に広がるのが期待されます。



バッティングを指導する不二ライトメタルの皆さん

12/7 伝統文化を継承したい
清源寺天満宮神楽保存会

清源寺天満宮神楽保存会(田上正二会長)は、腹赤小学校を訪問し、町の指定無形文化財である清源寺神楽を披露しました。

この日は3年生37人が参加し、神楽の由来や文化を学びました。

また、同学年の福田拓生くんと廣岡航汰くんが清源寺神楽の練習に参加していることもあり、みんなの前で神楽を披露しました。

田上会長は「習い事などで忙しい中に、神楽を習いに来てくれてうれしく思う。大人になってからも神楽に携わってもらいたいです」と伝統文化の継承に期待を込めました。



ドリブルを指導する中村さん

12/23 長洲にこここクラブが講師を招いてスポーツ教室を開催!! 1/4

不二ライトメタルソフトボール部を講師に招き、ソフトボール教室を開催しました。この教室は、地元企業と地域の子どもの交流を図ろうと、初めて開催されました。

この日は約20人の小学生が参加。バッティングや守備を教わりました。

永江隆二監督は「ソフトボールを通して、地域貢献ができればと思い、開催しました。子どもたちの技術向上になれば幸いです」と話しました。

サッカーJリーグの鹿島アントラーズのジュニアユース監督を務める中村幸聖さんを講師に招き、金魚と鯉の郷広場でサッカー教室を開催しました。

ことして3回目となる同教室では、約40人の小学生が参加し、ドリブルやパス、体の使い方などを教わりました。

参加した子どもたちからは「ボールを持っていない時の動き方が勉強になりました」などの感想が上がりました。



説明を聞きながら、作品を制作する参加者

1/10 **ものづくりで区民の交流を
下東区でものづくり教室を開催**

下東区（中逸博区長）は、下東区介護予防拠点施設「はっとり荘」でことしの干支である「戌」の小物づくり教室を開催しました。

当日は、区民 25 人が参加し、北野孝子さん（下東区）など 3 人の指導者から作り方の説明を聞きながら、楽しく干支の小物づくりを行いました。

中逸区長は「区民の皆さんが楽しく作品づくりに取り組んでもらうことができうれしく思います。これからも、このような交流を続けていきたいです」と語りました。



児童たちからも好評でした

1/18-30 **子どもたちへながす羽衣琉金を PR !
小学校で『ながす金魚出前講座』を開催**

町と町養魚組合（松井一也組合長）は、ながす金魚の新品種「ながす羽衣琉金」を児童たちに知ってもらおうと、町内小学校の全児童を対象に出前講座を行いました。

町養魚組合の組合員が各小学校を巡り、新品種誕生までの努力や、金魚の飼い方などを説明し、講演後には記念の缶バッジが全児童へプレゼントされました。

児童からは「金魚をより好きになった」、「挑戦する大切さを学んだ」などの感想があがりました。



生徒たちへ語りかける植原（左）さんと濱崎さん（右）

1/10 **進路や夢について考える
腹栄中学校で夢教室を開催**

腹栄中学校（松永光親校長）は、生徒の保護者と同校の卒業生を講師として招き、夢教室を開催しました。

これは、生徒たちの職業に対する理解を深め、進路や夢の実現に役立ててもらおうと開催しているもので、ことしで 3 回目。植原修徳さん（荒尾消防署）と濱崎博一さん（熊大病院研修医）が職業を選んだきっかけや、仕事内容について語りました。

生徒会長の服部響暉さんは「職業それぞれに良さがあって、目標とする職業が違ったとしても学ぶことがたくさんあり、勉強になりました」と感想を話しました。



水路を流れてくる金魚を品定めする参加者たち

1/11 **九州で唯一！
金魚・錦鯉の初競りを開催**

長洲観賞競売場（福永誠二代表）は、村木養魚場で金魚や錦鯉の初競りを開催しました。ことしも九州内外から愛好家など約 50 人が参加し、屋内の水路をカゴに入って流れる金魚と鯉を競り合い、会場には威勢のいい掛け声が響きました。金魚の最高額は長洲町の品種『ジャンボシシガシラ』で 4 万 4 千円でした。

福永代表は「今後も競りを通して、長洲が産んだ最大品種のジャンボシシガシラを全国に広めていきたい」と抱負を語りました。